

一緒に守りたい
子どものがん

一緒に考えたい
子どものがん

2022
3/12
saturday

第3回がんメタボロミクスセミナー

小児がん・血液がん

医療最前線

～最先端治療と今後に向けて～

大人のがんとは性質が異なる「小児がん」と小児がんの中で最も多い「白血病」。その現状と最新治療について、国立がん研究センターの専門医が講演します。

2022.3.12 (土) 13:30 ~ 16:00

鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

入場無料・要申込

現地参加 (50名程度)

オンライン参加 (50名程度)

主催 公益財団法人庄内地域産業振興センター

共催：国立研究開発法人国立がん研究センター、鶴岡市立荘内病院、慶應義塾大学先端生命科学研究所

後援：山形県、鶴岡地区医師会、鶴岡地区歯科医師会、鶴岡地区薬剤師会

講演
1小児がんってどんな病気？
—症状から最新の治療まで—

国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科長 小川千登世先生

小児がん、と聞くと、「えっ？子どもにがん？」と思われるかもしれませんが。でも、子どものがんは薬の効きやすいものも多く、完治して元気に活躍していた東京パラリンピックの選手もいます。小児がんではどんな症状が出るのか、から、副作用の少ない最先端の治療までわかりやすくお話しさせていただきます。

群馬県生まれ。1990年福島県立医科大学卒業。卒業後、群馬大学小児科で研修、小児の血液がんを中心に診療。2005年より聖路加国際病院小児科、2012-2013年には福島県立医科大学の創業関連トランスレーショナルリサーチ部門の臨床研究試験分野勤務。2013年夏より現在の国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科。2004年より日本小児白血病リンパ腫研究グループ、日本小児がん研究グループなどにて、小児がんに対する新しい薬や治療の開発を中心に診療・研究を行っている。

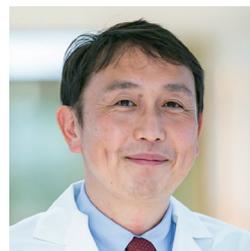
講演
2

白血病の最新治療と今後に向けて

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科科長 南陽介先生

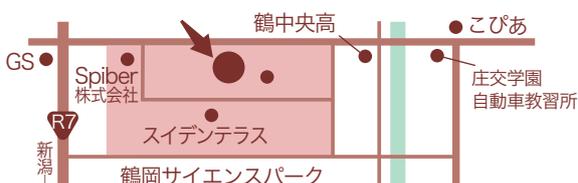
白血病は不治の病の様に長く思われてきましたが、分子標的療法など、近年治療は著しく向上しています。セミナーでは、白血病の最新の治療についてわかりやすく解説し、健診の重要性など含めてお話ししようと思います。

1996年名古屋大学医学部卒業、小牧市民病院 臨床研修医／血液内科 医員、1999年名古屋大学大学院医学系研究科内科学第一 博士課程、2003年修了。
2003年 Division of Hematology-Oncology, Moores UCSD Cancer Center 留学。2008年名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 医員／特任講師。2013年神戸大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 講師。2017年国立がん研究センター東病院血液腫瘍科科長。日本臨床腫瘍学会、日本内科学会、日本癌学会、日本がん分子標的治療学会（理事）、日本血液学会、日本造血細胞移植学会、American Society of Clinical Oncology、American Society of Hematology



【会場へのアクセス】

鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
鶴岡市覚岸寺字 水上 246-2



【新型コロナウイルス感染予防のためのお願い】

- 当日、発熱や風邪症状などがある方は、会場参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 受付時、手指消毒・検温・体調などの確認にご協力をお願いいたします。また会場内ではマスクの着用をお願いいたします。
- 2月26日以降、感染流行地域に行く予定のある方はオンラインでご参加ください。

参加申込方法

3/4(金)まで国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室にお申し込みください

- 現地参加ご希望の方は、①②③の方法で ● オンライン参加 (Zoom視聴) ご希望の方は、③の方法で
① TEL : 0235-64-0980 ② FAX : 0235-64-0981 ③ Email: info@ncc-tmc.jp

参加者指名 (フリガナ)	連絡先 (事業所名・電話など)